

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・松魚亭

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：山岸与作 幹事：上田忠信

情報委員長：中村三次

1983・1月27日 第233号



金沢近代よもやま話

金沢市収入役 中川三津夫氏

かつての金沢の人口は、華族人口が57名、士族人口が32,000人余、平民人口が78,000人余で、7割が平民、3割が士族であった。

藩制時代の記録でもほぼ同様で、町民と武士の人口構成が7：3の割合となっていた。したがって金沢も町民の町であったというべきである。

私は、ある専門誌に、歩行都市金沢の街路という小論を発表したことがあるが、歩行都市とは、旧金沢市街は概ね3キロ四方で面積約10平方キロ、人口規模17・8万、すべての用事が歩くことによって達成出来る都市という意味である。人口密度を計算するとおよそ1ヘクタール 200人位で、ヨーロッパ流の適正人口密度からいえば、非常に過密な都市であった。

旧市内10平方キロといっても、兼六園、金沢城、卯辰山、数多くの寺社地、田畑等が約3平方キロ、あとの7平方キロに宅地があった。武家地は約5平方キロ、町人地は2平方キロと推定される。5対2の割合である。住んでいる人口は反対で、宅地の7割にあたる土地に総人口の3割の士族がお屋敷を構え、残り3割の土地に町民がひしめきあっていた。

具体的にいえば、武家屋敷の標準は間口約12間(約21m)、奥行約20間(約36m)、240坪(約790㎡)である。町人地の標準は間口2間半(約4.5m)、奥行15間(約27m)、28坪(約121㎡)である。人口密度は武家地1ヘクタール当り約37人、町人地ではその約10倍の350人となる。

武家地の宅地割は間口・奥行とも、今日の都市計画区画整理に近い均衡のとれた区画割であるが、町人地は非常に細長く不整形であった。この間口の狭い家は、金沢という都市の美観にそぐわないという意見もあるが、旧市街の人口の7割をしめた庶民が住んでいた、間口の狭い家が、金沢らしさの一つであって、昔の大工さんは、そこに、タウンハウスと呼ばれている今日のヨーロッパ風の建物よりもはるかに立派な木造の家を建てているのである。

前田藩は江戸時代、他の城下町にない特色のある城下町としての金沢を作った。それは、町人地と武家地が入りみだれて在るということである。これはまことに賢明であり、金沢はそれによって歩行都市となり、文化が発達したのだと思われる。

—金沢北RC例会講話より— (文責 中村三次)

私の名刺

吉田 富士夫



昭和4年の5月25日は、朝から晴れていました。家の門をあけて左を見ると、市立長土堀尋常小学校の木造校舎があり、始業の半鐘で、校庭では運動会がありましたが、私はその時に生まれました。これは、低学年のかけっこの足で、そのまま家の様子を見に帰ったすぐ上の姉の話です。六十路になる父が、思いがけない男児の誕生に、座敷で相好を崩して手酌を傾け、紅殻塗りの鴨居には、富士夫と墨書した半紙が貼られて、産湯をすませた私が、赤いお猿のような顔で、母の横に凶々しく力んでいました。吉田富士夫と命名してくれた老父は、その年の盛夏に卒中で黄泉に急いだので、その人への記憶はなにもないが、自分の名前は気にしています。

末っ子の座を私に取られた姉は、ときおり可愛らしいうっぶん晴らしをこころみ、ある小春日の午後、掃除が終った塵取の上に弟を座らせ、何のおまじないか、庭に咲いた秋海棠の花束を持たせ、頭に雑布をのせてぴちゃぴちゃと叩いたところが、夕暮になり訳のわからぬ高い熱を出して母親を狼狽させ、自分も夜着の下から秘かに快復を祈っていたそうですが、運動会の日に生れて赤く力んだわりには蒲柳の質です。一度でいいから体重が50kgになりたいのですが、胃袋が弱しかならない現在では無理で、運動神経もだめです。絵さえ描いておれば黙って遊んでいる、元気のない男の子が、戦争中に育つのは苦勞しました。県立工業図案科へ入学しても、暗い思い出しかなく、つぎつぎと肉親を亡くした頃で、内面的に屈折した時代でしたが、敗戦が結果的には終止符を打ってくれました。

あとは無我夢中で、絵筆を持ちつづけた半生で、青年期までは長町6番丁に、数年の滞欧を境に現在まで、彦三町1丁目で暮してきましたが、家内あたりの茶の湯には適当な家や庭も、油絵の製作には適さず、近年は陶画までやりだしたので、もはや不便なことは論外です。先日も、ある美術専門誌で特集の企画があり、陶芸作業を撮影に来ましたが、秋の二紀展に並べる絵を背景に、絵付ロクロを回し、やっと写真にしてもらいました。

このたび、尊敬する大場先生の御勧誘と、長谷川様の御親切なお推めを頂き、また会員の皆様の御配慮により、名誉ある金沢北RCに加入させて頂き、まことに有難く厚く御礼を申し上げます。

ひとり室内で絵を描くという、きわめて個人的な作業は、その作品が世に出る時も、画商まかせの社会性の少ない仕事になりやすく、美術関係者にお付き合いも限られがちで、遅ればせに、私の未熟なところを諸先生によりまして御教導を賜り、それぞれの経験豊富な人生観に触れさせていただき、及ばずながら努力いたしたく念じております。心から御理解をお願い申し上げまして、入会の御礼と御挨拶にさせていただきます。

今週の花

吉山 宥海
(1月20日)

梅
寒 椿



新入会員紹介



なか たに えい じ
中谷 栄治 呉服卸

(株)中谷商店社長 本町1-4-1 TEL 31-5858
堀川町10-3 TEL 31-5859

会員番号 87 夫人 文子 趣味 旅行
入会 1983(昭58)1 長女 真美子 ゴルフ
長男 洋一
誕生 1930(昭5)4-18 二女 由美子
結婚 1956(昭31)5-7 三女 真理子
所属委員会 友好委員会 保証人 俵外代吉・釣見栄一



おお さわ きゅう こう
大沢 久広 通信機器製造

(株)能登副社長 宮保町イ100番地 TEL 52-1281
大手町15-32 アイビーガーデン大手町502号 TEL 64-1545

会員番号 88 夫人 陽子 趣味 ゴルフ
入会 1983(昭58)1 映画鑑賞
誕生 1948(昭23)12-8
結婚 1982(昭57)3-11
所属委員会 親睦委員会 保証人 山岸与作・上田忠信



たき けん ぞう
滝 憲三 塗装

スタンドアドサービス(株)社長 彦三町1-11-7 TEL 22-1616
鈴見町ニ51 TEL 22-7385

会員番号 89 夫人 みさお 三女 明美 趣味
入会 1983(昭58)1 母 ゆき 孫 千夏 ゴルフ
誕生 1931(昭6)9-9 長男 正二 孫 憲太郎 小唄
結婚 1954(昭29)3-4 長女 千鶴子 釣
所属委員会 親睦委員会 保証人 山岸与作・上田忠信



よし だ ふじお
吉田 富士夫 洋画

彦三町1-14-31 TEL 61-7262

会員番号 90 夫人 芳子 趣味
入会 1983(昭58)1 長女 三夕里
誕生 1929(昭4)5-25 二女 夕希子
結婚 1958(昭33)10-18 兄嫁 きくみ
所属委員会 例会委員会 保証人 大場勝雄・長谷川聖人

